

令和元年5月8日(水) 午前11時
定例記者会見資料 総務課危機管理防災室

総社市と勝山市との災害時における相互応援に関する協定書 調印について

日時 令和元年5月9日(木) 午前9時15分

場所 岡山県総社市役所

令和元年5月9日(木)岡山県総社市役所において、災害時における相互応援に関する協定を岡山県総社市と締結します。地震や風水害等の災害により相互の市が被災した場合、応援要請に対して食料や飲料水などの供給、復旧活動に必要な物資や機材の提供、職員の派遣などを行います。勝山市が県外の自治体との災害時相互応援協定の締結は、今回の総社市で4件目となります。(小松市、白山市、環境自治体会議会員市町村)また、勝山市では、災害時応援、情報共有等に係る協定として、団体、事業者等と28件の協定を締結しています。

総社市とは、平成30年福井豪雪び平成30年7月豪雨の際に、互いに災害支援を行いました。

平成30年11月から3月までは税務関係職員1名、平成31年4月1日からは応援職員1名を勝山市から派遣し、家屋解体等の業務にあたっています。今回の協定締結により、「互いに支え合えるような関係を続けていきたい」と考えています。

1. 岡山県総社市から福井県勝山市へ応援協力

(1) 経過 平成30年豪雪では、平成30年2月4日からの大雪により、市街地における最大積雪深が2月8日には204cmを記録する。大雪の影響は、市民生活を直撃し、主要道路(北陸自動車道、国道8号、中部縦貫自動車道)が通行止めとなったことから、給油車が来られなくなり、市内ガソリンスタンドでは給油制限が行われ、ガソリンを求める車両が長い列を作った。

上記状況の中、総社市長から勝山市長に応援協力を行う旨の連絡があり、不足する軽油について、4,000リットルの支援を受ける。

(2) とき 平成30年2月8日(木)

(3) 内容 軽油4,000リットル (タンクローリー1台)

(4) 支援職員 岡山県総社市職員(消防職員、危機管理室職員)

2. 福井県勝山市から岡山県総社市へ応援協力

(1) 経過 平成30年7月豪雨により、甚大な被害を受けた岡山県総社市に、勝山市から支援物資を送りました。勝山市長から総社市長に支援物資の申し入れを行ったところ、アルミ工場の爆発による住宅被害への対応が必要とのことから、ブルーシート約300枚、飲料水(500ml)1000本の支援物資をワゴン車2台に載せ、職員4人が7月8日早朝に総社市へ出発する。

総社市役所周辺は道路の冠水もなく落ち着いていましたが、市内を流れる高梁川が一時氾濫危険水位を超えたことから避難所が開設され、多くの方が避難されていました。支援物資は無事に届けられ、職員は今後の支援について意見交換したのちに勝山市へ戻る。

(2) とき 平成30年7月8日(日) 午後4時

(3) 内容 ブルーシート308枚、飲料水(ペットボトル)1,008本

(4) 支援職員 福井県勝山市職員(危機管理補佐監、危機管理室職員、総務課職員)